

# 令和8年度 本通小学校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：24008

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
成果	課題
◇全国学力・学習状況調査の結果から、学習に対して肯定的な意見が多く、授業内容の理解に困っている様子はあまり見られない。 ◇友達が困っていたら進んで助けたり、地域や社会をより良くしたりしようという意識が高い。	◇自己肯定感が低く、自分と違う意見に対して肯定的な回答が少ない。 ◇「好き」、「得意」と感じている児童が全国平均を下回っている教科が多い。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇自己肯定感が低く、異なる意見を受け入れることが難しい現状があるため、今後はスモールステップでの目標設定と自信を育む声掛けを行い、児童が達成感を得られるような支援が重要となる。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

「わかった!」「できた!」を実感し、自ら学びに向かう力

課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
◇研究副主題 課題探究的な学習～AAR サイクルをもとにした授業づくり～ ・見通し (Anticipation) について →子どもが単元や題材の見通しを明確にもてる課題設定 →子どもの意欲や期待が高まるような教材の工夫 ・行動 (Action) について →子どもが自分で課題解決のための方法を選べる場の設定 →子どもが必要感をもって対話し、考えを深める工夫 ・振り返り (Reflection) について☆今年度の重点 →学びを使って説明・判断する場につながる活動の在り方 →自分の考えを捉え直すことにつながる対話の在り方	◇自分たちの生活を振り返る場の設定 →生活アンケートをシャボテンで毎月実施 →各学級・委員会などでの活用・リフレクション ◇自分たちの生活を楽しく、豊かにする委員会活動 →あいさつ週間、異学年交流など委員会活動の充実 ◇さっぽろっ子サミットと関連を図った活動の推進 →パートナー校との交流・協議の場の設定
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
◇情報活用体系案や chromebook 使用要領を示すことにより、複数のツールの中からより適当なものを選択し、各ツールの利点や特色を生かして学びを進められるように努める。	

<本プログラムの実行に向けて>

